

平成19年12月12日

平成19年度全国学力・学習状況調査における新城市児童生徒の結果について
新城市教育委員会学校教育課

1 全体的な印象

本市の状況は、全国の結果と同じ傾向が見られます。この結果は学力の特定の一部を表したものです。以下、教科別・問題別に分析をしました。 <凡例>「できている=○ 指導改善の余地がある=△」

2 調査分析概要(全国の平均正答率と比較して)

《小学校6年生》

科	主として「知識」に関する問題	主として「活用」に関する問題
国語	<p>同程度</p> <p>○正しい接続語を使用し、文脈中の指示語の働きを理解する。</p> <p>△漢字辞書を効率よく使って調べたい事柄を探し出す。内容を理解して一文を二文に分けたり、話の要点をおさえる。登場人物の心情を表現に即して読みとる。</p>	<p>同程度</p> <p>○文章とグラフにまとめられた事実を関係付けて読む。</p> <p>△司会者として発言内容を整理する。情報の中から必要な事柄を取りだし書き換える。二つの文章を読み比べそのよさを評価してまとめる。</p>
算数	<p>同程度</p> <p>○足し算やかけ算が混じった整数と小数の計算をする。平行四辺形の定義や性質を理解する。</p> <p>△小数のかけ算の意味を理解する。</p>	<p>同程度</p> <p>○条件を変えた図形の面積が等しいことや数値の異なる計算の仕方を説明する。</p> <p>△グラフから変化の様子を読みとる。</p>
学習状況	<p>・全国と比べて、朝ごはんをきちんととったり、早寝早起きをするなど基本的な生活習慣が身に付いている児童が多い。学校の宿題をする児童は多いが、計画的に予習をしたり、自分で学習時間を決めて取り組んだりする児童がやや少ない。国語の学習や読書が好きな児童はやや少ないが、総合的な学習の時間を楽しみにしている児童の割合は多い。社会への関心がやや低い。全国の調査結果で、「就学援助を受けている児童の割合が高い学校の方が平均正答率が低い傾向が見られる」と分析されているが、本市ではその傾向に当てはまらない。</p>	

《中学校3年生》

科	主として「知識」に関する問題	主として「活用」に関する問題
国語	<p>同程度</p> <p>○手紙を書く際の言葉の使い方を理解する。「枕草子」の冒頭を書くことができるなど代表的な古典に親しんでいる。</p> <p>△文脈に即して漢字を正しく書く。</p>	<p>同程度</p> <p>○作品の内容や表現上の特色を踏まえ、自分の考えを書く。</p> <p>△資料に表れているものの見方や考え方をとらえ、伝えたい事柄や考えを明確にして書く。</p>
数学	<p>同程度</p> <p>○樹形図や表などを利用して、総当たり戦の試合数を求めるなど、場合の数を求める。</p> <p>△円柱と円錐の体積を比較し、正しい図を選ぶ。</p>	<p>同程度</p> <p>○グラフから情報を読みとる。</p> <p>△連続する5つの自然数の和が5の倍数になることを説明するなど、ものごとを発展的に考える。</p>
学習状況	<p>・全国と比べて、午前6時30分前に起きる早起きの生徒が、非常に多い。翌日に備えて、早寝をする生徒も多いが、睡眠時間が短い生徒も多い。小学生と同様に、宿題をきちんとする生徒は多いが、予習・復習をする生徒は少ない。学校で楽しみにしている活動がある生徒や地域の行事に参加している生徒、総合的な学習の時間を楽しみにしている生徒が多く、地域を愛する心が感じられる。小学校に比べ、国語が好きという生徒の割合が高くなっている。</p>	

3 今後の新城市教育委員会の指導改善等の取組

(1)国語や算数・数学における基礎基本となる知識の力を一層伸ばしていくために、児童・生徒が自ら目標を設定し計画的に学習する力を伸ばす機会と場を設定します。

(2)国語や算数・数学における活用の力を一層伸ばしていくために、「新城の三宝」を活かし、人々の知恵を実感する学習や自分の夢を切りひらく学びの場を設定します。

(3)家庭・地域と連携をとりながら、子どもたちの生活習慣や学習環境が学力に反映することを周知し、「ノー・テレビデー・ノ・ゲームデー」を設けるなど、改善を図る取り組みを行い、総合的な学力の向上に努めていきます。

4 留意点

(1)この調査で測定した学力は特定の一部です。

(2)学校では、成果と課題を把握し、授業改善に努めます。

(3)家庭では、得意なこと・不得手なことを知り、また前向きな生活習慣の確立を図るなど、お子さんが家族や地域との絆を深める中で、意欲を持って学ぶ励ましや環境づくりをお願いします。